

ホームページやLINEを活用した自治会活動

和合町自治会

作成者：CSW 伊藤 優太

基本情報

- 活動場所…和合町
- 活動頻度…月に数回更新
- 利用料…なし
- 構成員…和合自治会員

【HP】



和合町自治会



キーワード

#自治会活動

#デジタル化

#HP(ホームページ)

#LINE(ライン)

■活動をはじめたきっかけ

和合町では、共働き世帯の増加をはじめ、町民の世帯が変化しています。

今までは、回覧板を回しての情報発信をしていました。しかし、「行事があっても知らなかった」、「回覧板ではお知らせを見えていない」など、回覧物が町民の方に読まれていない。そのため、自治会活動の認知度が低いことに課題を感じていました。

現在では、多くの方がパソコンやスマートフォンを持っています。ホームページで情報発信を行えば、いつでも、どこでも自治会からの情報や活動を多くの方に知ってもらうことができます。また、自治会のPR活動や回覧物配布の負担も減らすことができると考え、活動を始めることになりました。

■工夫・活動開始までの流れ

デジタル化への思いを自治会で共有し、自治会長からデジタル分野に詳しい人材(人財)である方に声をかけました。当初は無料のホームページをいくつか試した後、より良いホームページを実現するためにレンタルサーバーを調達しました。

また、その方を中心に準備委員会を立ち上げ、掲載内容の検討を行いながら進めていきました。

パソコンだけでなく、スマートフォンでも閲覧できるよう工夫をしています。

■活動内容

ホームページを活用し、自治会情報や防災情報、各種団体など町民に向けた情報発信を行っています。ホームページ内には、デジタル回覧板を見ることができる、町民からの投稿ページがあるなど、住民も参加しやすい工夫をしています。

また、自治会公式のLINEも運用し、多くの町民が情報を得られるよう、様々なデジタル化の活動に取り組んでいます。

■実績・効果

デジタル化の目的は町民のコミュニケーションを活性化させ、自治会活動への意識向上にあると思っています。少しずつですが、ホームページや記事の内容が話題になることが増えてきました。

また、紙の回覧板では中身をあまり読んでもらえなかったものも、デジタル化により情報の保存ができるようになりました。過去の記事も含め、いつでも確認ができるため、若い世代をはじめ、町民からはイベント情報などが確認しやすくなったという声をいただいています。

■今後の展開

まだまだ十分に普及しているとは言えない状況です。引き続き、デジタル化を1つの手段として町民のコミュニケーションと自治会活動への参加意識の向上につなげていきたいと思っています。

地域には様々なことに詳しい住民がいます。これからはたくさんの町民にもホームページに参加してもらいたいです。また、デジタル機器の扱いが苦手な方も多くいます。その方たちもデジタル化を利用できるような環境整備も必要だと感じています。

